

新しい山門野に期待

「山門野」自治公民館が誕生

山門野上と山門野中、山門野下の3自治公民館が4月1日に合併し、新たに山門野自治公民館が誕生しました。

同地区は人口減少と高齢化で集落運営が難しくなったことから、平成25年度に合併検討委員会を開催しました。平成26年度には地区在住の20歳以上を対象に集落合併に関する意向調査を実施。合併が必要との回答が多数を占めたことから、検討会を重ね、平成29年度に山門野集落合併推進委員会が発足し、本格的に合併に向けて動き出し、今回の誕生を迎えました。

同自治公民館は現在、110世帯、279人が在籍しています。4月21日には、町開発総合センターで山門野集落合併記念式典・祝賀会が開かれ、集落関係者や町関係者ら約120人が出席しました。

千葉久嗣初代自治公民館長は「当初は住民らの意見の相違があったが、徐々に理解を得られ、合併できたことに感謝する。今後は先人が残した伝統を守りながら、融和と活気に満ちた心豊かな集落づくりに取り組んでいきたい」とあいさつ。続いて、宮内一弘合併推進委員長が「合併に伴い、集落行事の活性化や芸能の継承、スポーツ大会などへの参加者の増加など、新しい変化が起こることを期待する」と展望を述べました。

アトラクションでは、地元住民らが撮った過去の集落行事などの記念映像が上映され、懐かしさから歓喜の声が上がりました。

伝統芸能の「モダン節」と「馬踊り」も披露され、会場は大いに盛り上がり、同自治公民館の華やかな幕開けとなりました。



↑ 80年前に長崎県から山門野に伝わったとされるモダン節



↑ 手を取り合う川添町長、千葉自治公民館長、坂之下修副公民館長、宮内合併推進委員長（写真右から）



↑ 婦人会が中心となる馬踊り